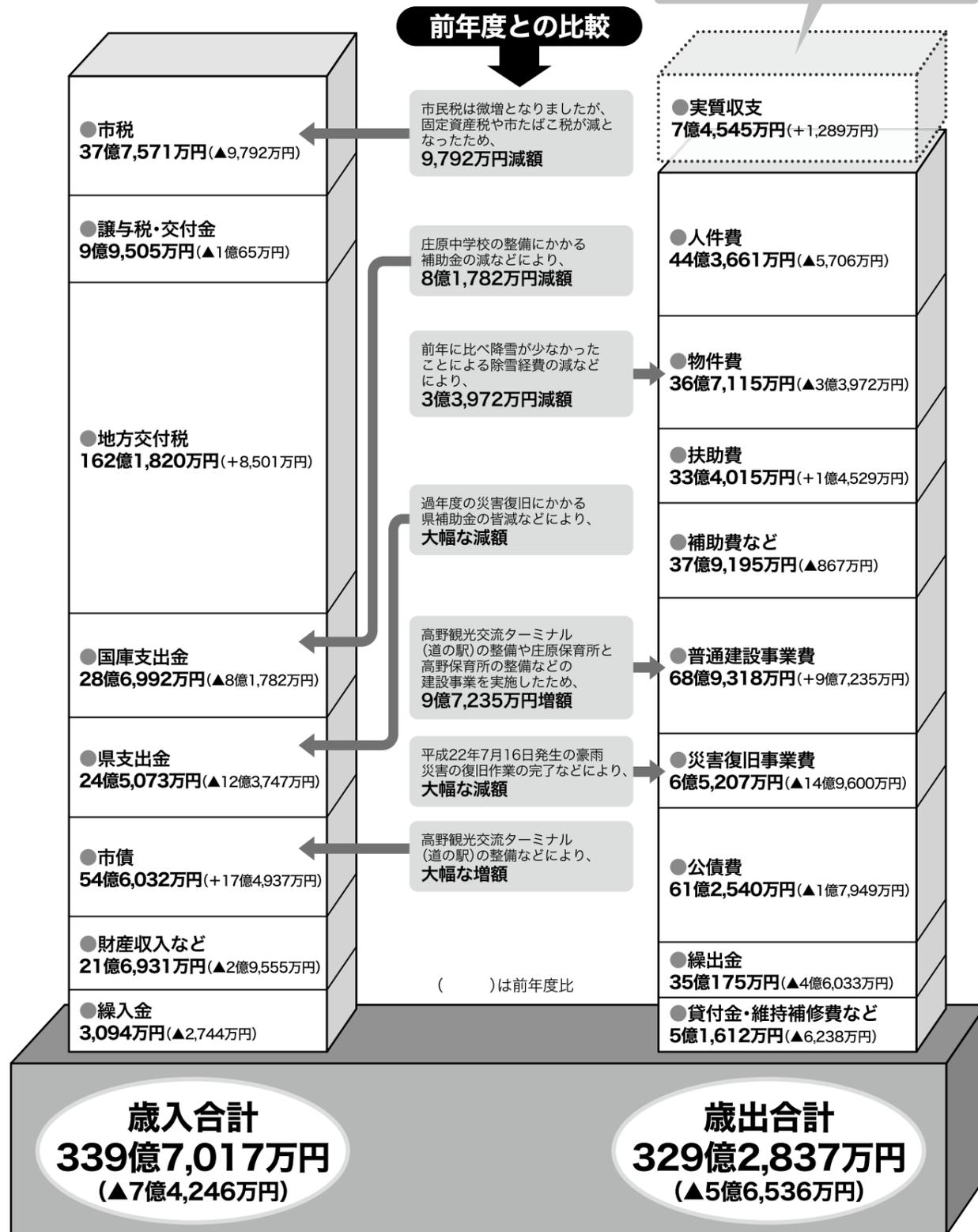


市の大きなお財布、 「一般会計」の歳入と歳出

一般会計は福祉、教育、インフラ整備などを進める、皆さんの生活にもっともかかわりの深い会計です。市のお金がどのように使われたのか見てみましょう。



[平成24年度]

決算

財政規律を守りながら必要な事業を着実に実施

市は毎年、「庄原市財政状況の公表に関する条例」に基づき、予算の執行状況や決算、財政の健全度を示す基準について公表しています。今回は、平成24年度の決算や健全化判断比率などについてお知らせします。

一般会計・特別会計の決算状況

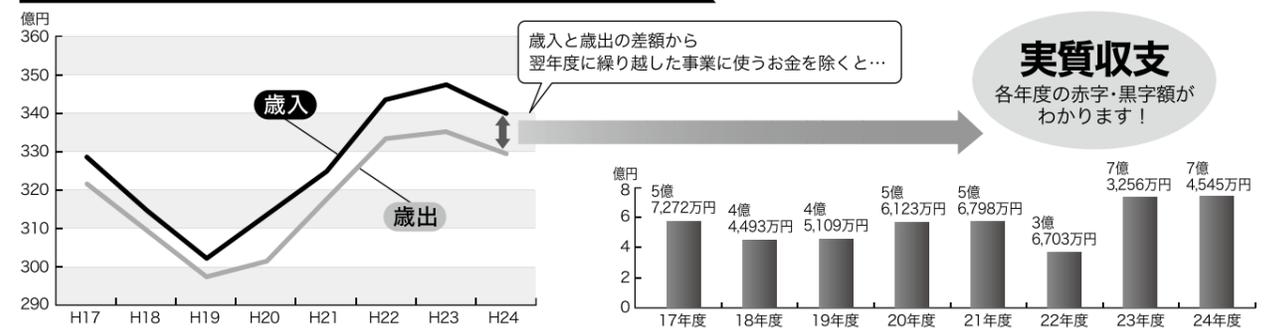
(金額は万円未満を四捨五入していますので、内訳の合計は必ずしも一致しません)

	歳入決算額 A	歳出決算額 B	形式収支 C=A-B	翌年度繰越財源 D	実質収支 E=C-D
一 般 会 計	339億7,017万円	329億2,837万円	10億4,180万円	2億9,635万円	7億4,545万円
住宅資金特別会計	694万円	642万円	52万円		52万円
歯科診療所特別会計	2,595万円	2,570万円	25万円		25万円
国民健康保険特別会計	44億4,495万円	43億4,946万円	9,549万円		9,549万円
国民健康保険特別会計(直診勘定)	1億1,275万円	1億526万円	749万円		749万円
後期高齢者医療特別会計	6億3,311万円	6億3,289万円	21万円		21万円
介護保険特別会計	59億3,114万円	58億2,472万円	1億642万円		1億642万円
介護保険サービス事業特別会計	4,151万円	3,924万円	227万円		227万円
公共下水道事業特別会計	10億4,857万円	10億4,795万円	62万円		62万円
農業集落排水事業特別会計	4億5,625万円	4億5,603万円	22万円		22万円
浄化槽整備事業特別会計	2億2,941万円	2億2,905万円	36万円		36万円
簡易水道事業特別会計	4億5,344万円	4億4,699万円	646万円	359万円	287万円
工業団地造成事業特別会計	3億5,291万円	3億5,291万円			
宅地造成事業特別会計	161万円	161万円			

公営企業会計の決算状況

	収 益	費 用	特別利益(▲損失)	当年度純利益(▲損失)
水 道 事 業	6億4,904万円	6億1,256万円	▲33万円	3,616万円
病 院 事 業	11億9,053万円	12億1,784万円	0万円	▲2,732万円

歳入・歳出決算額と実質収支の推移(一般会計)



平成22年7月のゲリラ豪雨に関わる災害復旧工事が完了!

一般会計では、歳入と歳出を差し引いた10億4,180万円から、平成25年度に繰り越した事業に使うお金の2億9,635万円を除いた実質収支(その年度の赤字・黒字を示すもの)は7億4,545万円の黒字となりました。そのうち、4億円を市の預金である財政調整基金※1へ貯金し、残りを平成25年度に繰り越しました。

水道事業は、前年度に比べ、職員増員に伴い人件費が増加した一方、給水人口の減少、節水機器の普及により水道料金が減収しましたが、前年度純利益4,907万円に引き続き黒字決算となりました。

西城市民病院は、医師・看護師の確保などにより給与費が増額した一方で、インフルエンザなどの流行による院内感染防止のための入院制限や人口減少の影響により医業収益が減少した結果、赤字決算となりました。

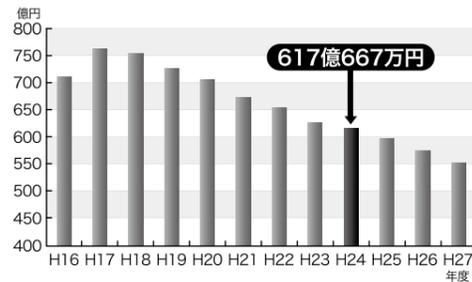
どうなってるの？市の財政状況！

市債残高

	平成24年度	平成23年度	増 減
一般会計	449億588万円	451億6,059万円	▲2億5,471万円
特別会計	126億7,278万円	132億1,494万円	▲5億4,216万円
企業会計	41億2,801万円	43億6,751万円	▲2億3,950万円
現在高	617億667万円	627億4,303万円	▲10億3,637万円

市債残高の推移(全会計)

(平成24年度までは実績、平成25年度以降は推計値です)



財政用語のコーナー

※1 財政調整基金

基金とは、現金を積み立てた預金のことです。財政調整基金は、突発的な災害や緊急を要する経費に備えるために設けられた基金で、年度末の残高は20億6,128万円となっています。

※2 公債費負担適正化計画

実質公債費比率が18%以上となる地方公共団体が、地方債の発行許可を受けるにあたって策定する計画です。庄原市はこの計画を策定し、広島県と協議して知事から地方債発行の許可を得ています。

※3 資金不足比率

公営企業の資金不足を、それぞれの事業規模である営業収益の額と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。庄原市では、水道事業会計、国民健康保険病院事業会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、浄化槽整備事業特別会計、簡易水道事業特別会計、宅地造成事業特別会計、工業団地造成事業特別会計が対象です。

平成25年度上半期 予算の執行状況

市は、毎年財政状況を公表し、予算の執行がどのような状況になっているのかを市民の皆さんにお知らせしています。今回は平成25年度予算、9月30日現在の執行状況をお知らせします。

(金額は万円未満を四捨五入していますので、内訳の合計は必ずしも一致しません)

一般会計、特別会計の収支状況

区 分	予算現額	収入済額	収入率	支払済額	支払率
一般会計	321億8,578万円	153億9,261万円	47.8%	117億3,033万円	36.4%
特別会計	133億6,304万円	48億6,738万円	36.4%	52億6,639万円	39.4%
国民健康保険	43億9,334万円	17億1,397万円	39.0%	17億6,384万円	40.1%
後期高齢者医療	6億5,914万円	2億701万円	31.4%	2億8,720万円	43.6%
介護保険	60億804万円	24億7,290万円	41.2%	24億3,348万円	40.5%
公共下水道事業	9億6,430万円	1億4,736万円	15.3%	3億3,648万円	34.9%
農業集落排水事業	3億4,786万円	3,478万円	10.0%	1億5,492万円	44.5%
その他特別会計	9億9,036万円	2億9,136万円	29.4%	2億9,047万円	29.3%

公営企業会計の収支状況

区 分	収 入			支 出			
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率	
水道事業	収益的	7億14万円	2億9,861万円	42.7%	6億7,880万円	3億34万円	44.2%
	資本的	4億9,129万円	895万円	1.8%	7億1,681万円	1億5,198万円	21.2%
病院事業	収益的	12億4,898万円	6億4,273万円	51.5%	12億4,898万円	5億9,644万円	47.8%
	資本的	3,629万円	3,357万円	92.5%	6,093万円	2,691万円	44.2%

税の収入状況(一般会計、国民健康保険特別会計)

区 分	予算額	収入済額	収入率
地方税	37億8,169万円	23億697万円	61.0%
国民健康保険税	7億6,226万円	2億4,680万円	32.4%

市債残高

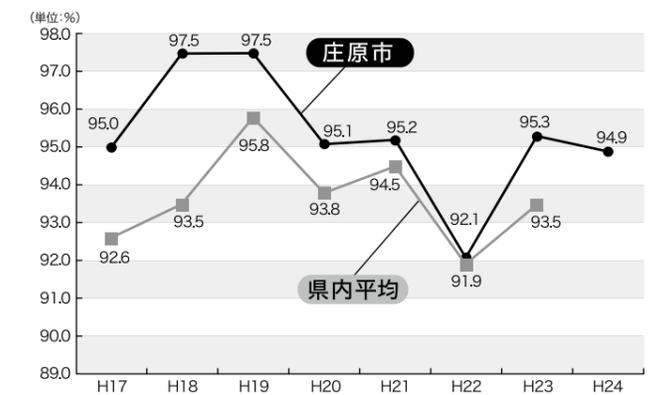
一般会計	421億5,816万円
特別会計	123億3,083万円
企業会計	41億1,683万円
合 計	586億582万円

経常収支比率

経常収支比率とは、人件費や市債の返済(公債費)などの毎年固定的に支出しなければならない経費に、市税や地方交付税などの毎年決まって入ってくる収入をどの程度充てているかを示す比率です。

経常収支比率が低いほど、自由に使えるお金も多くなり、柔軟な財政運営が可能となりますが、比率が高いほど、新規事業や公共施設の整備などの経費へ充てることのできるお金は少なくなります。

平成24年度の経常収支比率は、前年度に比べ0.4ポイント改善しましたが、依然として高い数値となっており、お金の使いみちの自由度は低い状態が続いています。

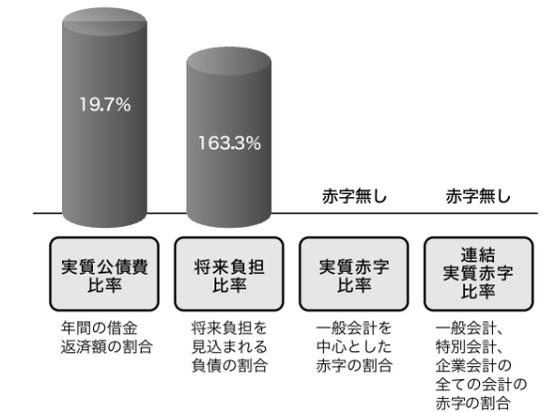


健全化判断比率

市の財政状況がどうなっているかを表す4つの指標は、昨年度に続きいずれも早期健全化基準内です。早期健全化基準を上回る場合は、財政再建のための計画を策定し、その計画に従って行政運営を行わなければなりません。

早期健全基準

25% 350% 12.47% 17.47%

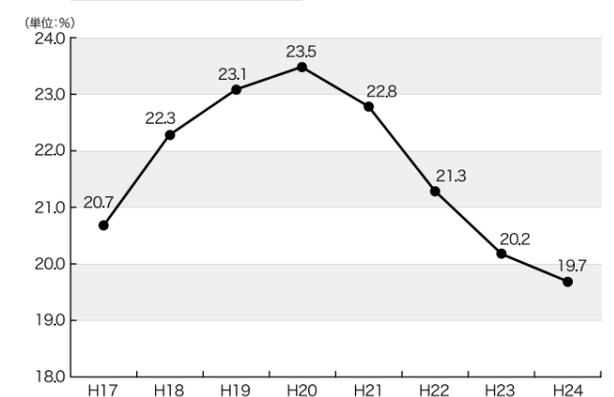


実質公債費比率は着実に改善

実質公債費比率は、早期健全化基準内の19.7%ですが、依然として高い水準と言えます。

このため、公債費負担適正化計画※2を策定し、計画的な市債の借入に努めてきたことにより、着実に改善しています。今後も、計画的な借入によって、実質公債費比率を18%未満とするように努めます。

実質公債費比率の推移



[資金不足比率]

各公営企業会計で資金不足はありませんでした。(資金不足比率※3は0%です)

[市債残高]

7年連続で減少！市債残高は10億3,637万円の減！

市債は、主に道路や学校など、長期間使用する施設の建設費のために発行します。平成24年度の一般会計の市債発行額(借入額)は、高野観光交流ターミナル(道の駅)、庄原保育所と高野保育所、東城自治振興センターなどの建設事業を実施したことから、前年度に比べ17億4,937万円増額の54億6,032万円となりました。

一方、元金返済額は57億1,502万円、市債残高は449億588万円となり、前年度に比べ2億5,471万円減少しました。

全会計の市債残高の合計は前年度と比べて10億3,637万円減少し、7年連続の減少となりました。